

# 音 楽

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
17	教育出版	教 出◆	音楽 101 201	AB 160	平成31年
27	教育芸術社	教 芸◆	音楽 102 202	A4変型 164	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	教出・教芸

## 2 東京都立立川国際中等教育学校附属小学校の教育課程

### 【教育課程編成の基本方針】

「次代を担う児童・生徒一人一人の資質や能力を最大限に伸ばさせるとともに、豊かな国際感覚を養い、世界で活躍し貢献できる人間を育成する。」という教育理念を踏まえ、小学校から中等教育学校までの12年間を一体として捉え、児童・生徒の発達等に応じて柔軟な教育課程を編成する。

### 【音楽における学習指導の展開】

- (1) 曲を聴いて感じるイメージや感情と音楽の構造などとの関わりを理解し、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けさせる。
- (2) 他者との協働の中で音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるように指導する。
- (3) 音楽活動をとおして、音楽を愛好する心情を育み情操が豊かになるように指導する。

## 3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 我が国や郷土の伝統音楽を扱っている教材のページ数	都立小中高一貫教育校教育内容等検討委員会報告書 第2章 令和3年度都立小中高一貫教育校教育課程に係る基本方針	ページ
b 諸外国の音楽について記述してあるページ数	同上	ページ

### ※調査研究項目を設定した理由

a 我が国や郷土の伝統音楽については、小学校学習指導要領解説音楽編「第1章 総説 2 音楽科の改訂の趣旨及び要点」の中に、以下の記述がある。

我が国や郷土の音楽に親しみ、よさを一層味わうことができるよう、和楽器を含む我が国や郷土の音楽の学習の充実を図る。

また、「令和3年度都立小中高一貫教育校教育課程に係る基本方針 7教科等の指導の展開 (1)第1学年～第6学年（小学校段階） キ 音楽」（以下、「基本方針」という。）の中に、以下の記述がある。

雅楽、歌舞伎、狂言、文楽の一場面などの我が国の音楽や民謡、祭り囃子などの郷土の音楽について、体験をとおして学び、よさを味わうとともに、伝統や文化への理解を深め、音楽的な語彙を用いて説明できるようにする。

このことから、我が国や郷土の音楽に親しむ態度の育成を図る学習を推進し、日本の伝統や文化を理解するために、日本文化の理解を深める内容に関わる日本の伝統音楽を扱っている教材のページ数を調査する。

**b 基本方針**の中に、以下の記述がある。

幅広い諸外国の音楽にふれ、音楽の多様性を知るとともに、英語や第二外国語での学びと関連付け、諸外国の文化への理解を深め、興味・関心を高める。

このことから、諸外国の楽曲を通して音楽活動の基礎的な能力を伸ばすとともに、異なる文化をもった人々と共に生きていく態度を養うために、諸外国の音楽について記述してあるページ数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】都立立川国際中等教育学校附属小学校 音楽

	発行者の番号 略 称	17 教 出	27 教 芸
内 容	a	我が国や郷土の伝統音楽を扱っている教材のページ数	31.5
	b	諸外国の音楽について記述してあるページ数	38.75
			38.25